

学校教育目標	学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成) 子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。 * 自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知) * 生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体) * とともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開)					
	学校概要 創立 34 周年 児童生徒数: 349 人	学校長 横田由美子 副校長 長谷部宏行	3 学期制 一般学級: 10 個別支援学級: 2	主な関係校: 高田小学校 高田東小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	高田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働的に次代の社会をつくる力 自己肯定感・自己有用感 言語能力 情報活用能力	高田中学校 高田小学校 高田東小学校	○自らすすんで学び続ける子 ○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子 ・校長ランチミーティング・12人会議・90人会議を通して、小中一貫教育の更なる推進。 ・「豊かな表現力の育成」をブロック研究テーマとした授業づくりの推進。 ・高田中ブロック「資質・能力ベース カリキュラム」の作成

中期取組目標	○明るく・楽しく・前向き(あ・た・ま)をモットーに、それぞれに笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。 ○教職員が生き生きと学び認め助け合い、生徒理解力と生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。 ○生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かい、異なる価値観や考え方や行動を認め、大切にし合い、自ら考え誤解なく伝えようとする態度の醸成を目指します。 ○学校・家庭・地域・社会による連携・協働により、「地域・社会と共に歩む開かれた学校」づくりを一層すすめます。 ○生徒それぞれの学力の定着・向上と主体的・対話的で深い学びを促進できる授業の実践を目指します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 各教科・研究部	①新学習指導要領実施に伴い「主体的・対話的で深い学び」ができる授業への改善を図る。②教科横断的な学びの充実と、学校外のリソースを活用した社会につながる学びにむけた研究を推進する。 ③教育活動の充実、効果を上げるためにICTを有効的に活用する。
<b>豊かな心</b> 担当 学習指導部	①よりよい社会の実現にむけて実践できる生徒の育成を目指し、道徳教育の充実を図る。②「Pay it Forward」(恩送り)の考え方を積極的に推進する中で、互いの良さを認め合いながら、個々の人権感覚の醸成を図る。③人権作文コンテストに全員が参加することで人権への理解と意識を高める。
<b>健やかな体</b> 担当 保健安全美化指導部・保健体育科	①健康教育や学校保健委員会などを通して、生徒が心身の成長や健康について関心を持ち、主体的に健康で安全な生活を送れるように支援を行う。②保健体育を通じて、生徒が自身の体力を知り、自ら体力の維持や向上を図る活動を行う。③食や感染症に関する知識と生活習慣とを身につける活動の充実を図る。
<b>生徒指導</b> 担当 生徒指導部・特活指導部	①家庭・地域・学校が一体となり、生徒の情報を共有し、生徒の心情に寄り添った生徒指導の充実を図る。②生活アンケート、教育相談、YPを活用した積極的生徒指導を行い、生徒が安全・安心して過ごせる学校づくりを図る。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育	①合理的配慮の必要な生徒への対応について、職員間での共通理解を図る。特別な支援を要する生徒への個別的教育支援計画・個別の指導計画作成を全職員で取り組み、対応を実施する。②不登校・集団生活への不適応など課題のある生徒への「個に応じた指導」の充実を図る。
<b>地域連携・学校運営協議会</b> 担当 管理職・専任	①「小中連携」「地域連携」を意識した活動の充実を図り、児童・生徒が高田中ブロックや地域の一員としての意識をもてる機会を多くする。②外部人材などの教育資源を引き続き模索し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
<b>公共心と社会参画</b> 担当 研究部・特活指導部・学習指導部	①SDGsを視点とした教育活動を拡大を図るために、引き続き新たな教材開発を行う。②キャリア教育(職業講話・職場体験・進路学習)などを通して、生徒が社会的・職業的自立に向けて、自分の役割と責任を自覚し、社会に関わろうとする意識を高める。
<b>情報教育</b> 担当 GIGAスクール推進部	①情報活用能力の育成を図り、ICTを活用した授業をさらに広げ、学び合い、個別最適な学び、協働的な学習を支援する。②生徒主体のICT利活用の場を広げ、デジタルシティズンシップを醸成する。③ICT支援と協働し、職員のスキルアップとICT教育環境整備に努める。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①いじめ防止対策推進法に関する職員研修を実施し、いじめ防止対策委員会を中心としたいじめに対応する体制を強化する。②外部講師を招き、生徒がネットトラブルに関する学習する機会を設け、デジタルシティズンシップの育成へとつなげる。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 管理職・主幹教諭	①学び合いによる授業力向上や、学校外の世界や情報に触れ、教職員が持続的自発的に学び続ける文化、環境を築いていく②校務と学びの場面で高田中学校GIGAスクールを推進し、ICTを活用した効率化と業務スリム化と質の高い教育活動を推進する。③「報告・連絡・相談」体制が確立し、ドキュメント化が習慣化された全教職員参加型の組織運営を目指す。